



たつみっこのための

すたなび

NO. 48 辰美小学校

H26. 7. 8 (火)

子どもたちにつけさせたい力



辰美小学校では、毎年子どもたちにつけさせたい力を考え、テーマを決めています。そしてテーマをもとに、日頃の授業はもちろんのこと、公開授業を行ったり、講師を招聘したりして研修を重ねています。

今年のテーマは、

言語活動を工夫し、発表力を高める授業(学級)づくり

です。

たつみっこに、限りない可能性を多く引き出してもらおうと始めたのが、『ホワイトボード・ミーティング』です。ミニホワイトボードを活用して、子どもたちが楽しみながら安心して意見を言える環境をつくります。「自分の意見を発表することや友だちの意見を聞くことは楽しい！」という実感を子どもたちと積み重ね、学級の誰とでも話し合える関係づくりにもチャレンジしながら学びを深めていく実践です。

6月には「ホワイトボード・ミーティング」を提唱し、会議や研修、事業推進におけるファシリテーター養成に取り組む、ちょんせいこさんを講師としてお招きし、研修を受けました。

ちょんせいこさん



大切なのは、子どもたちの「心の体力」を温めることです。「心の体力」は日頃のコミュニケーションの集積で温まったり、冷えたりします。だから毎日の授業や学級活動、家庭での会話において、豊かな言語活動を育みましょう。そうすれば、「心の体力」が温まる※エンパワメントな教室になります。

※エンパワメント→人びとに夢や希望を与え、勇気づけ、人が本来持っているすばらしい、生きる力を湧き出させること

昨年度の2学期からこの「ホワイトボード・ミーティング」をすすめてきました。今も子どもたちは、一人1枚ミニホワイトボードを持っています。子どもたちは、ミニホワイトボードが好きです。これを使って授業を展開する学級もあります。

※うらもあります。

理科の授業で・・・

「ホッキョクグマが地球温暖化で困っています。なぜでしょう。」自分の考えや思ったことを黙々とホワイトボードに書いています。



音楽の授業で・・・

ミニクイズをしています。ト音記号や音符など何度も書いて楽しく覚えます。いつも答えを出す時は「ダーダン」声を合わせてボードを上げます。



社会の授業で・・・

「生活排水についてのエピソードを教えてください。」お互いにインタビューしています。もちろん、聞いたことはホワイトボードにメモをします。

聴き上手になる練習



「話す」「聴く」あなたは、どちらが得意ですか？

どれだけうまく話ができても、発表ができても「聴く」ことができなければ、コミュニケーションは成り立ちません。意思をもって、熱心に聞こうとするのが「聴く」です。ちよんさんは、「質問の技カード」を使って考えや話を深めていくことを教えてくれました。

① サッカーです。

② ○○というサッカーチームに入っています。

③ 土曜も日曜も練習でたいへんだけど、楽しいです。

④ 昨日の試合でぼくがシュートを決めて逆転勝ち。うれしかったです。

① 好きなスポーツという？

② へ～！具体的にどんな感じ？

③ もう少し詳しく教えてください。

④ 何かエピソードを教えてください。



こんなところでも...

これは、月1回行われている代表委員会の様子です。代表委員

会は、会議の一つ。みんなの意見を取り入れ、スムーズに進めていくために活用されています。積極的に意見を言う人とそうでない人のアンバランスな関係がなくなり、みんなが参加し、みんなで考えるという雰囲気できています。



質問の技カード

「オープン・クエスチョン」
思考を広げ、深める質問の例

- ① ～という？
- ② どんな感じ？
- ③ もう少しくわしく教えてください。
- ④ たとえば？
- ⑤ 具体的にどんな感じ？
- ⑥ どんなイメージ？
- ⑦ エピソードを教えてください。
- ⑧ 何でもいいですよ。
- ⑨ ほかに？

あいづちの例

- ① うんうん。
- ② なるほど、なるほど。
- ③ わかる、わかる。
- ④ そうなんだあ。
- ⑤ へえ～。
- ⑥ だよねえ。
- ⑦ それで、それで。
- ⑧ そっかあ。

自己選択、自己決定を問うときの質問

- ① どうしたい？
- ② どうなったらいいと思う？
- ③ この中のどれだと思う？



たつみっこが秘めている限りない可能性を引き出せるよう、学校職員も日々、自己研鑽しているところです。少しでも子どもたちの安心した環境の中で、学習できるよう、取り組んでいきます。またご家庭においても左の「質問の技カード」は使えるのではないのでしょうか？子どもたちが学校であったこと、友だちと遊んだことなど、ゆっくりと聴いてあげてください。寄り添い聴いてあげることで子どもたちに安心と信頼が生まれ、さらに「心の体力」も温まっていくことでしょう。

